

人文社会科学部 A棟ロビーの展示を入れ替えました！

旧制静高卒業生の横顔

松本征二と社会福祉行政

主催：人文社会科学部大学アーカイブズ委員会 共催：大学資料室



静高卒業生のその後・・・

新しい試みとして、今次の展示では、旧制静高の卒業生個人の人生に焦点を当てます。

今回注目したのは、1923年に1期生として旧制静高文科甲類に入学した松本征二（1905～85）です。彼は静高を卒業後、東京帝国大学法学部に進学し、その後東京市や厚生省で主に社会福祉関係の仕事に従事します。「身体障害者福祉法」の制定と実践に専念した結果、日本における近代的身体障害者福祉の生みの親の一人と言われるようになりました。ヘレン・ケラーの来日（1948年）にも関わっています。

今回の展示を通して、旧制静高が育んだ多様な才能に触れてみて下さい。

